

## 高真空排気装置の製作について (MS 明朝 15p)

— 電子ビーム溶接機への応用 — (MS 明朝 12p)

**On the Production of a High Vacuum System** (Times New Roman 12p)  
**- Practical Use for Electron Beam Welding Machine -** (Times New Roman 10p)

(MS 明朝 11p) 東京 太郎\*<sup>1</sup> 関東 次郎\*<sup>2</sup>

(MS 明朝 10p・半角・斜体(姓：大文字、名：頭文字のみ大文字)) TOKYO Taro KANTO Jiro

Abstract は、Times New Roman を用いる。

(300 語以内 サイズ 10p)

Practical use for electron beam welding machine .....

**Keywords** : Machine, Electricity, Electronic, Information, Architecture, Construction (Times New Roman 10p)

キーワード：機械，電気，電子，情報，建築，建設 (MS 明朝 10p 6 単語以内)

## 1. はじめに (MSゴシック 11P 左寄せ)

- 論文は6頁を標準とし、10頁以内
- 章立ては前後1行を空け左寄せ
- 1ページあたり文字数は50行、2段組  
(各段25列、計50列)
- マージン 上18mm、下18mm、左18mm、右18mm
- 本文の日本語フォント：MS 明朝 サイズ 10p  
本文の英数字フォント：Times New Roman 10p

\*論文の本筋とは関係ないが、脚注として説明しておきたい内容を記述する場合は、言葉または文の右肩に、「〇〇<sup>[注1]</sup>」のように、左右をカギ括弧でくくり、上付で書く。

\*本文中の言葉または文と参考文献を関連付ける場合は、言葉または文の右肩に、「〇〇<sup>(1)</sup>」のように、左右を括弧でくくり、上付で書く。

\*句読点は、「、」「。」「,」「.」のどれを用いても良いが、統一する。

所属欄のフォント 日本語 MS 明朝 9p

英数字 Century 9p

## (1) 単位・記号・数値等について

文科省、JISなどで定められた学術用語、記号、定義などがあるときはこれに従う。

単位は、原則として国際単位系(SI)を用いる(JISZ8000規格群参照)。ただし、特段の事由があれば、SI以外の単位とそれに基づく換算値を{ }で書き添えてもよい。

量記号および変数は斜体、数学演算記号および単位記号は直立体とする。

## (2) 数式について

数式は、Times New Romanの斜字体を用い、大文字・小文字・上付・下付などがはっきりわかるように記述する。

式中での括弧の順序は原則として { [ ( ) ] } とする。

式が途中で切れる場合は、改行のはじめに ×・/・+・- 等をつける。

数式は各式の右端に …… (1)、…… (2) のように通し番号をつける。本文中では式(1)、式(2)のように記述する。式番号は「算用数字 Times New Roman 9p」

を用いる。分数については、式中では  $\frac{a+b}{c+d}$ 、文中で

は  $(a+b)/(c+d)$  のように入力する。

\*1 正会員 実践大学 機械科 教授 博士(工学) (MS 明朝 9p 左寄せ)

Prof., Dept. of Machine, Faculty of Engineering, The University of Jissen, Dr Eng.

\*2 非会員 教育大学 電気科 准教授 修士(理学)

Assoc. Prof., Dept. of Electricity, Faculty of Engineering, The University of Education, M.S.

## 2. 実験装置

### 2.1 使用工具 (MS明朝 10p 左寄せ)

本実験で使用した工具は

- ・節以下は行をあけないで書く

図・写真は、この枠と同じ幅もしくは倍の幅で貼り付ける。図の文字はできるだけ見やすく、写真の解像度は、150～300dpi 程度が望ましい。

(図 1)

図 1 実験装置 (または写真 1 実験装置)

キャプション (図 1 実験装置) と次の文章は 1 行あける。

表 1 実験結果 (MSゴシック 10p 中央)

表は、この枠と同じ幅もしくは倍の幅で貼り付ける。表の文字はできるだけ大きく見やすくなるよう考慮する。

(表 1)

表の終わりと次の文章は 1 行あける。

最後のページの左右欄は同行に同一に揃える。  
そのページを埋め尽くして終わることが望ましい。

### 注 (MS明朝 9p)

[注 1] ○○は、○○

[注 2]

### 参考文献 (MS明朝 9p)

- (1) 著者:論文題目, 誌名, 巻 - 号, 始ページ/終ページ (発表年) \*論文の場合
- (2) 著者:書名, ページ, 発行所名 (発行年)  
\*単行本の場合

\*参考文献のページは「p. ○○」、複数の場合は「pp. ○○-△△」のように書く。

(論文受付 202■年■月■日, 採用決定 202■年■月■日)